

平成 29 年 6 月 13 日
建設局 緑政課

桃園公園・城山緑地施設再配置計画について

この度、桃園公園・城山緑地施設再配置計画の案を取りまとめましたので報告いたします。

公表は、建設建築委員会（6月13日）で報告後、記者に資料配布する形で行う予定です。合わせて、市HPにも掲載し、広く市民にPRしてまいります。

1 再配置計画策定の背景について

桃園公園は1963年（昭和38年）に公園開設後、「スポーツを楽しみ、遊びながら学べる公園」として、また、城山緑地は1975年（昭和50年）に公害防止・緩和のための緩衝緑地として、市民が憩い、くつろぎ、楽しめる公園・緑地となるように整備を行ってきた。

このような中、個々の施設の老朽化、公共施設マネジメントによる施設の見直しや、2020年オリンピックキャンプ地の誘致などを契機に、桃園公園・城山緑地のリニューアル（施設再配置）計画を策定する必要が出たところである。

そこで、平成27年度、市内部（建設局、市民文化スポーツ局、子ども家庭局）に勉強会を発足し、各競技団体、まちづくり団体、学識経験者などの関係者や利用者アンケートを実施し、ニーズの把握に努め、そのあり方を検討し、結果を今回、「桃園公園・城山緑地施設再配置計画」として取りまとめたので報告するもの。

2 関係団体等の意見について

【桃園公園】

意見	対応策
駐車場をできるだけ多く確保して欲しい	駐車場整備（現状：271台 整備後：466台（195台増））
ナイター照明がないのが桃園の欠点	ナイター照明（6面分）整備 ※1
テニスコートに観客席を整備して欲しい	観客席を整備
駐車場有料化は賛成	有料化を検討

※1 利用者調査では、利用者の約7割が近隣の夜間照明コートがあれば利用したいと回答

【城山緑地】

意見	対応策
アーチェリーの全国大会が開けるようにしてほしい。現在は野球場や陸上競技場を利用している	大会時は多目的グラウンドを利用可能
現在の城山球場はソフトボール利用には使い勝手が悪い	ソフトボール利用可能な多目的グラウンドを整備